

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-20891
(P2021-20891A)

(43) 公開日 令和3年2月18日(2021.2.18)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 33/06 (2006.01)	A 6 1 K 33/06	4 C 0 8 6
A 6 1 P 43/00 (2006.01)	A 6 1 P 43/00 1 2 1	4 H 0 1 1
A 6 1 P 31/12 (2006.01)	A 6 1 P 31/12	
A 6 1 P 31/04 (2006.01)	A 6 1 P 31/04	
A 6 1 P 11/14 (2006.01)	A 6 1 P 11/14	

審査請求 有 請求項の数 2 O L 公開請求 (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2020-116029 (P2020-116029)	(71) 出願人	520246423
(22) 出願日	令和2年7月4日 (2020.7.4)		鳥山 朋美 静岡県静岡市葵区沓谷3-2-26
		(74) 代理人	100205512 弁理士 出雲 暖子
		(72) 発明者	鳥山 朋美 静岡県静岡市葵区沓谷3-2-26
		Fターム(参考)	4C086 AA01 AA02 HA04 HA17 HA24 MA02 MA04 MA17 MA37 NA05 ZA07 ZA21 ZA33 ZA34 ZA62 ZA63 ZA66 ZA69 ZA72 ZB33 ZB35 ZC75 4H011 AA01 BB18 DA13

(54) 【発明の名称】 マグネシウム塩組成物及びその製造方法

(57) 【要約】

【課題】本発明は、ウィルス性の風邪等の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物及びその製造方法を提供する。

【解決手段】 本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物は、一例として、4種類のマグネシウム塩を適宜の比率に使用して製造する。前記比率は、重量比として、塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムの重量比が1.0:0.2~0.9の割合となるようにする。本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の原料は、無水塩化マグネシウム、塩化マグネシウム六水和物、無水硫酸マグネシウム、硫酸マグネシウム七水和物等のマグネシウム塩を使用する。

【選択図】なし

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムとを含有するマグネシウム塩組成物であって、塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムとの重量比は 1 . 0 : 0 . 2 ~ 0 . 9 である人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物。

【請求項 2】

水に塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムを重量比が 1 . 0 : 0 . 2 ~ 0 . 9 の割合になるように加えた後、溶解させ又はカプセルに詰めたりする、人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の製造方法。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物及びその製造方法に関する。

【背景技術】**【0002】**

海水中には、塩化ナトリウムの他にマグネシウム塩等が含まれており、従来は、組成物をそれぞれに分解して研究してきた。

【0003】

しかしながら、発明者は、組成物その物が、当たり前ではあるが、不思議な効果を有することを見出した。海岸から離れたところでも鉄管が良く錆びる。震災で津波被害を受けた田畑の作物が、塩抜きをしないと育たない。等々の言わばナトリウム塩分を覆って見えなくする作用が現実にある。また、飛沫感染のウィルスが、武漢の方から雨に乗って香川県を渡り兵庫県及び日本全国に降っているが、ウィルス感染者が淡路島、小豆島、佐渡島には出ていない。また、遠く離れた南太平洋の島国にもウィルスの雨が降っているが、感染者が居ない。このことは、塩化ナトリウムの次に多いマグネシウム塩組成物そのものがウィルス感染症に効果があると見ることができる。

20

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】**

30

【0004】

本発明は、ウィルス性の風邪等の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物及びその製造方法を提供する。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

発明者は、鋭意研究の結果、なんと、塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムとを含有するマグネシウム塩組成物が、ウィルス性の風邪等の人の病気を治療するため又は殺菌剤として効果があることを見出し、ウィルス性の風邪等の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物及びその製造方法の発明を完成させたものである。

【0006】

40

本発明は、次の内容によるものである。

【0007】

塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムとを含有する人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物であって、塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムとの重量比は 1 . 0 : 0 . 2 ~ 0 . 9 である。

【0008】

人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の製造方法は、例えば、水に塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムを重量比が 1 . 0 : 0 . 2 ~ 0 . 9 の割合になるように加えた後、溶解させ又はカプセルに詰めたりする。

【発明の効果】

50

【0009】

本発明のマグネシウム塩組成物を飲むことにより、ウィルス性の風邪等の人の病気の症状が改善し、病気を治療することができ、また、殺菌剤として使用することもできる。

【発明を実施するための形態】

【0010】

以下、本発明の実施の形態の例について説明する。尚、本発明は、以下の形態の例に限定されるものではない。

【0011】

本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物は、一例として、4種類のマグネシウム塩を適宜の比率に使用して製造する。前記比率は、重量比として、塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムの重量比が1.0:0.2~0.9の割合となるようにする。

10

【0012】

本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の原料は、無水塩化マグネシウム、塩化マグネシウム六水和物、無水硫酸マグネシウム、硫酸マグネシウム七水和物等のマグネシウム塩を使用する。前記マグネシウム塩は、一般に入手できる市販品を使うことができる。

【0013】

本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物には、カルシウム塩、カリウム塩、酸化チタン、三二酸化鉄、臭化物、等を含まない。

20

【0014】

本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の形状は、特に限定はなく、人の病気を治療するために用いる場合は、水溶剤、カプセル剤、顆粒剤、錠剤等、飲用に適した形状とするのが好ましい。顆粒剤、カプセル剤、錠剤等に成型等するために必要な原料は、一般的に使用されるものを用いることができる。

【0015】

本発明を殺菌剤として用いる場合は、その用途によって、好ましい形状にすればよく、水溶剤とすることにより、より多くの用途で利用することが可能となる。

【0016】

本発明の人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の製造方法は、水に塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムを重量比が1.0:0.2~0.9の割合になるように加え、それぞれの剤形として製造するが、カルシウム塩、カリウム塩、酸化チタン、三二酸化鉄、臭化物、等を含まないことを確認する。

30

【0017】

次に人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物の実施例について説明する。

【0018】

実施例には、水1000ml中に塩化マグネシウム六水和物3.5gと無水硫酸マグネシウム1.0gを加えて、攪拌して溶解させたマグネシウム塩組成物を製造し、用いた。その場合、塩化マグネシウムと硫酸マグネシウムとの重量比は1.0:0.64相当となる。

40

【0019】

被験者は、H2ブロッカー薬の副作用が出て「胃粘膜から胃酸が出ない無酸症」に罹って腸間膜炎のウィルス性の風邪症状が出た、発明者本人(92才、男性)とした。

【0020】

被験者は、前記マグネシウム塩組成物を食間に1日3回、1回当たり50ml、28日服用した。1日に服用したマグネシウムの総量は、186.1mgである。

【0021】

その結果、被験者は、咳、痰の症状が緩和し、微熱が下がり、大腸の調子がよくなり、便秘が解消した。更に、胃痛、胃の膨満感、げっぷなどの症状も改善した。特に、補聴器

50

の聞こえが良くなり、ドライアイ気味の眼が正常になった。

【 0 0 2 2 】

以上のとおり、人の病気を治療するため又は殺菌剤としてのマグネシウム塩組成物は、ウイルス性の風邪の症状の回復に著しい効果が認められ、味覚神経、嗅覚神経、聴覚神経、視覚神経にも効果があると考えられる。

【 手続補正書 】

【 提出日 】 令和2年7月15日 (2020.7.15)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 3

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 2 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 6

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

フロントページの続き

(51) Int.Cl.		F I		テーマコード(参考)
A 6 1 P 11/10	(2006.01)	A 6 1 P	11/10	
A 6 1 P 29/02	(2006.01)	A 6 1 P	29/02	
A 6 1 P 1/10	(2006.01)	A 6 1 P	1/10	
A 6 1 P 1/06	(2006.01)	A 6 1 P	1/06	
A 6 1 P 27/16	(2006.01)	A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P 27/04	(2006.01)	A 6 1 P	27/04	
A 6 1 P 25/02	(2006.01)	A 6 1 P	25/02	1 0 1
A 6 1 P 1/14	(2006.01)	A 6 1 P	1/14	
A 0 1 N 59/06	(2006.01)	A 0 1 N	59/06	Z
A 0 1 P 3/00	(2006.01)	A 0 1 P	3/00	
A 6 1 P 1/04	(2006.01)	A 6 1 P	1/04	